

## C通信



令和8年7月 発行

自立活動委員会

早いもので、もう1学期もあとわずか。ここ数年夏は厳しい暑さが続いています。体調管理に気を付けつつ、長い夏休みを有意義に過ごしていきましょう。夏休みに普段ではできない経験をできるとよいですね。



## 病院受診について



Q.病院をずっと受診しないとどうなりますか？



## A.将来的に不利益があるかも…

学校では定期的に聴力測定をして聴力低下がないか確認しており、耳鼻科検診も行われています。だから病院を受診しないからと言って、直ちに不利益はないかもしれません。しかし大学受験のために共通テストを受ける時、補聴器や人工内耳を装用して受験するだけでも申請が必要です。その申請には医師の意見書が必要になります。ずっと病院に来ていないのに、突然来て聴力を検査してもお医者さんにとっては本当に信憑性のある結果と言えるのか、自信を持って書くことができないかもしれません。逆にこれまでの検査結果の積み重ねがあれば、自信を持って書くことができます。

さらに成人後、障害者基礎年金の手続き等にも必要となる場合もあります。その時にこれまでの検査の記録があれば、申請がスムーズに進むので、最低でも年に1回は受診するようにしましょう。



## イヤホンの使い方



Q.イヤホンで音楽を聴いてもいいですか？

## A.短時間ならよいが、音響性難聴に注意



難聴である場合、聞こえにくさから、音量を大きくしがちです。WHO（世界保健機関）では、80dBで1週間当たり40時間以上、98dBで1週間当たり75分以上聞き続けると、難聴の危険があるとされています。聴力の低下を防ぐために、できれば適切な音量をスピーカーから出し、補聴器や人工内耳を通して聞か、機器と補聴器や人工内耳をBluetoothで接続して聴くとよいです（可能な場合）。接続の方法がわからない時はぜひ相談室に来てください。一緒に接続の方法を確認しましょう。Bluetoothが使えると、補聴器や人工内耳をまるでワイヤレスイヤホンのように使えるので、とても便利です。

チェックしてみよう！

1年に1回は医療機関（耳鼻科）を受診している

色々な申請で医師の診断書・意見書が必要であると知っている

自分の補聴器・人工内耳にBluetooth機能があるかどうか知っている